在宅利用様式1

記入例

就労移行支援、就労継続支援（A型、B型）における在宅利用に係る申請書

（宛先）箕 面 市 長

申請年月日　**令和3** 年　**4** 月　**2** 日

申請者	住　所　**箕面市萱野5－8－1** 氏　名　**箕面　太郎**　　生年月日　**平成元** 年　**3** 月　**18** 日
届出者（記載者）	住　所 届出（記載）者氏名　　本人との関係：（　　） ※本人が届け出る場合は記入不要です。

就労移行支援※、就労継続支援（A型、B型）における在宅利用を希望するため、申請します。

利用を希望する事業所名	名称	**箕面就労移行支援事業所**
	所在地	**箕面市西小路4－6－1**
	サービス種別	■ 就労移行支援 □ 就労継続支援A型　□ 就労継続支援B型

※就労移行支援（養成型）においては、在宅利用はできません。

以下の3つの内容は記載例のため、個別の状況に応じて具体的に記入してください。

在宅利用を希望する理由（在宅利用の必要性及び今後の見通しがわかるように記入してください。）

（例1）令和3年3月までは、箕面就労移行支援事業所に週5日通所していた。重度の下肢障がいと麻痺があるため、就労先を検討するにあたってパソコンを使用しての在宅就労を目指したい。そのため、週5日の通所ではなく、一部在宅での利用としたい。引き続き、就労移行支援事業所で受けていたパソコン技術のスキルアップやビジネスマナーを学び、就労に向けた訓練を実施していきたい。

（例2）令和3年3月までは、箕面就労移行支援事業所に週5日通所していた。同年4月以降、新型コロナウイルス感染症が大阪府で蔓延しており、心疾患があるため重度化のリスクが高く、可能な限り外出は控えたい。引き続き就労移行支援事業所を利用しパソコンを利用してのスキルアップをして、予定通りあと1年の期間で就職を目指すために、在宅利用で継続して就労に向けた訓練を実施していきたい。

在宅利用を希望する頻度（利用日数のうち、在宅利用を希望する頻度を記入してください。）

（例1）週2日は通所、週3日は在宅利用　　**（例2）月2回のみ通所し、残りは全て在宅利用**

在宅利用を希望する期間（次回サービス更新月までが最大期間です。）

（例1）令和3年4月15日～令和4年3月31日　**（例2）令和3年4月15日～同年6月30日**

※注意※　事業所からの支援提供計画届出書の内容と合わせて、在宅利用の可否を判断します。
決定後にお手元に届く受給者証で在宅利用の可否をご確認ください。